

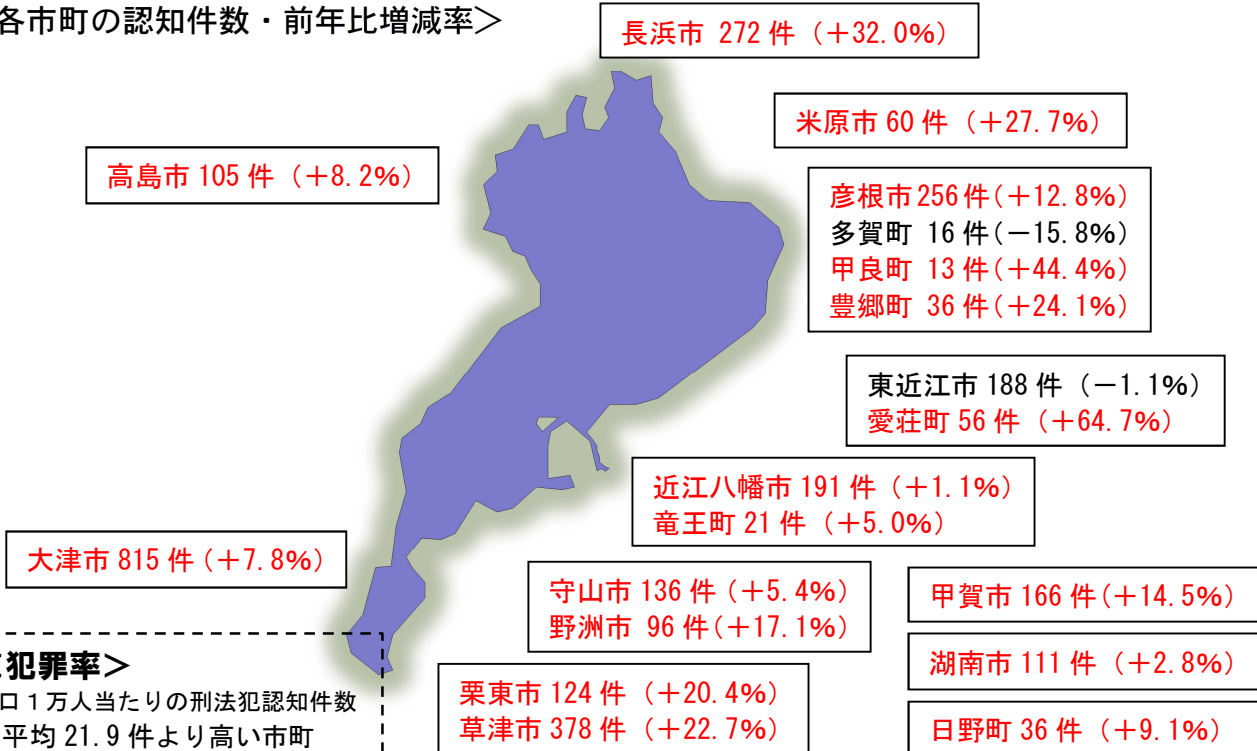
令和4年6月末の犯罪発生状況



令和4年7月12日
(公社) 滋賀県防犯協会

県内の刑法犯認知総数 3,105件 (前年比+358件 +13.0%)

＜各市町の認知件数・前年比増減率＞



＜犯罪率＞

人口1万人当たりの刑法犯認知件数
県平均 21.9件より高い市町

- ①豊郷町 49.0件
- ②草津市 27.8件
- ③愛荘町 26.1件
- ④大津市 23.7件
- ⑤長浜市 23.3件
- ⑥近江八幡市 23.2件
- ⑦彦根市 22.7件
- ⑧高島市 22.1件
- ※全国平均 21.7件

＜前年比・増加犯罪＞

(増加件数順6位まで)

- ①自転車盗 489件 (+73件)
- ②万引き 519件 (+65件)
- ③詐欺 244件 (+60件)
- ④暴行 161件 (+51件)
- ⑤部品ねらい 87件 (+33件)
- ⑥自動車盗 42件 (+23件)
偽造 26件 (+23件)

＜140件を超える犯罪＞

- ①万引き 519件 (+65件)
- ②自転車盗 489件 (+73件)
- ③器物損壊 285件 (±0件)
- ④詐欺 244件 (+60件)
- ⑤暴行 161件 (+51件)
- ⑥車上ねらい 143件 (+14件)
- ※侵入窃盗 165件 (-56件)

気になる犯罪 (特殊詐欺)

- ・6月までの本年発生は54件(前年比+10件)、被害総額は約1億3,000万円(前年比+約7,413万円)。
- ・高齢者(65歳以上)の被害は37件(約68.5%)、約9,633万円(約74.1%)となっています。
- ・6月中の発生は5件で、携帯電話のメール2件、インターネットサイト閲覧中1件を入口とした「サイト利用料未納」2件「サイト登録の解除費用」1件の架空料金請求詐欺5件、固定電話を入口として、警察官、銀行員を名乗った「キャッシュカードを狙う手口」による預貯金詐欺1件、キャッシュカード詐欺盗1件となっています。

～こんな言葉に気を付けて！～

【携帯電話から始まる手口】

- ①メール：実在する会社を装い「料金未納」とのメールが届き、記載された電話番号に電話をかける。
「動画サイトに1年間登録されている。」「携帯電話にウイルスに感染して色々な人に迷惑をかけている。」「サイバー保険がある。300万円で無制限に補償される。」
- ②インターネット：サイトを閲覧中「登録された」と表示され、電話をかける。
「登録が既に完了している。キャンペーン中で割引があります。」「利用されていないので、2週間後に返金します。」

【固定電話から始まる手口】

- ①警察官：「あなたの通帳が暴力団に流れている。通帳とキャッシュカードが必要なので家に行く者に渡してほしい。」
- ②銀行員：「詐欺犯人があなたのことを知っていると言っている。詐欺に遭っている可能性がある。」⇒自宅に来た者にキャッシュカードをだまし取られる

○ お金を要求する電話等があれば、すぐに警察に相談してください！